

# きもの古今東西

風姿から学ぶ、土地の伝統文化

2021年11月刊行

中谷比佐子  
安藤孝子



きもの研究家・中谷比佐子と、西の着物に精通している元祇園甲部芸妓・安藤孝子。二人の対談を軸に東西の違いを歴史的に、そして現代を眺めながら解説をしていく。日本文化のありようがわかり、人々が日本をもっと深く愛せるようになる。

■四六判・並製 ■価格:本体1,600円+税  
■ISBN978-4-394-99008-6 ■C0095

## 【目次】

まえがき

序章 安藤孝子と中谷比佐子

第一章 きもの東西

第二章 おとこ着物東西

第三章 言葉が明かす東西

第四章 おもてなし東西

第五章 祇園で遊ぶ

あとがき

各地の老舗呉服屋さんを訪ねていくうち、着物の着方やコーディネート、色の好みが土地土地によって随分と違うことに驚きました。東と西の着物の好みの違いが、そのまま東西の文化および考え方、生き方まで通じていることに気が付きました。——中谷比佐子（まえがきより）

職人さんたちが繋いできた技術を次の世代にきちんと伝えていきましょう。それが着物を着続けている私たちの務めではないかしら——安藤孝子（あとがきより）

着物を  
通して見た  
東と西の  
文化の違いを  
考察

### ◎中谷比佐子（なかたに・ひさこ）

1936年7月18日大分県生まれ。きもの文化研究家、きものエッセイスト、きものジャーナリスト。女性雑誌『女性自身』『二人自身』編集記者を経て「秋櫻舎」を設立。きもの季刊誌『きもの秋櫻』を発行。おもな著書に『きものという農業』『鹿服と繪服』『きもの解体新書』など。きものを切り口に日本の文化、日本人の考え方の基本、美意識を学び継承している。Facebook Live「チャコちゃん先生のお考えっ!」動画更新中。

### ◎安藤孝子（あんどう・たかこ）

1937年11月26日京都生まれ。元祇園甲部芸妓、『11PM』初代アシスタント。芸妓名は『孝千代』。6歳6月6日より日舞藤間流の稽古をする。そのうち舞妓に憧れて芸妓・貝田孝江の妹分として10代で店出し。舞妓、芸妓を経て、タレントに転身。深夜のテレビ番組『11PM』（読売テレビ制作）では藤本義一の初代アシスタントとして、火曜・木曜を担当。現在、お茶屋『祇園安藤』など会員制サロン、BGMスタイルJAZZクラブなど飲食店を経営。



春陽堂書店

<https://www.shunyodo.co.jp>

〒104-0061 東京都中央区銀座3丁目10-9 KEC銀座ビル9階902  
TEL03-6264-0855 FAX 03-6264-0856